

**❖ 新年のごあいさつ ❖**

全日本写真連盟 関西本部長  
全日本写真連盟 大阪府本部長  
中田 徹

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様が写真を元気の源とし、楽しく活動に取り組める年になるよう期待しています。

9月の着任からこの数カ月間で、会員の皆さんはじめ、全国各地からの応募作品の審査の場に何度か加わらせていただきました。これまでかかわってきた、いわゆる「報道写真」ではなく、様々なテーマで自由に撮られた数多くの作品に触れることができる楽しさの一方で、その中から何点かを選び出す大変さも痛感しています。

いまやピントが合っていない写真はなく、色調やプリントの質の高さに驚かされることも数多くありました。技術レベルに差がない中で、最後の判断基準をどこにしたらいいのか。毎回悩みながら臨んでいますが、どんな狙いで被写体をとらえているのか、そこにつけるような気がします。

数年前、たまたま古書店で見つけた本の中の文章です。「カメラと写真処理技術の著しい進歩によって『誰でも写せる写真機』が登場した。——このことはカメラ人口の増大を招き、アマチュアのシャッター・チャンスが多くなり、迫力ある現場写真はアマチュアにはかなわなくなってしまう」。1970年に日本新聞協会が発刊した「新聞写真」という、当時の新聞各社の写真部長などの寄稿、対談をまとめた本の中にあつた文章です。50年以上前から同じことがいわれ続けていたのかと正直驚きました。当時はフィルムカメラが一家に一台といわれていた普及状態です。いまは一人一台、世界中のありとあらゆる場所で誰かが必ずデジタルで

写真や動画を記録しています。

それだけに、何をどう撮るのか、アマチュアの皆さんだけでなく、写真を職業にしている者にとっても積年の課題です。

**テーマ・コンテスト****「冬の情景」 作品募集**

締め切り：2022年2月21日

応募作品：未発表の作品 1人5点以内。

撮影時期は問いません。

サイズ：四つ切り(ワイド不可)・A4の単写真

応募方法：作品の裏面には応募票を貼付

応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18

中之島フェスティバルタワー15F 全日本写真連盟大阪府本部

「冬の情景」テーマ・コンテスト係

応募料：会員1,000円 一般2,000円

(定額小為替に限る)

※詳しくは先月号の折り込みチラシ、またはホームページをご覧ください。

**●第78回 朝日写真展 作品募集!**

◇締め切り：2022年1月31日(月)

◇応募規定：テーマは自由。3年以内に撮影した未発表作品。単写真はA4・ワイド六つ切り。組写真は4枚まで

◇応募料：全日写連会員 2,500円

一般 3,500円

(ゆうちょ銀行からお振込みください。1人5点まで 点数に関係なく一律)

◇応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島

2-3-18-15F 全日本写真連盟関西本部

「朝日写真展」係

(詳しくは、全日本写真連盟 関西本部のホームページ等をご覧ください。)

# 全日本 シニア写真コンテスト

## 審査結果発表

シニア写真コンテストには318人1381点の応募がありました。2021年の10月に行われました審査の結果、金賞には三重県の上村雅氏の「奏でる」が選ばれました。

以下は審査委員長で写真家ハービー・山口氏の総評を転載させていただきました。

コロナ禍ということで、マスクをした人々などのドキュメンタリーなどがもっと応募されるかと思いましたが、やはり表情が撮れないということなのか、マスクをした人々の写真がほとんどありませんでした。その代わりに金賞の「奏でる」のように架空の画面を演出することで、時代を乗り越えていこうとするそうしたものが多く見られました。

人々の生活中での喜びというものがどんな時代にも貴重なものだということを改めて感じました。

しかし、この時代にしか撮れないドキュメンタリーというものも撮ってほしかったというのが正直な気持ちです。

因みに私事ですが、2020年から2021年に私が撮影したほとんどのポートレートはマスクをした人たちで、その瞳に宿るポジティブな感情を撮ろうとしました。それは、今しか撮れないもの、自分しか撮れないものへのあくなき挑戦というのが写真家の日常の姿だと思うからです。是非これからも時代というものを見据えて、この時代にしか撮れないものにも目を向けてもらいたいと審査を通じて感じました。

ここでは大阪府在住者のみのお名前をお知らせさせていただきます。

### ○銅賞

「ソーシャルディスタンス」毛利秀明(吹田市)

### ○入選

「明日は雨？」堀 廣一(大阪市)

「問答」古川昭子(豊能町)

「雪の古都」岡村明敏(枚方市)

「お別れマーじゃん」山本一朗(枚方市)

「光芒一筋」大井省三(松原市)

「好奇心」南野憲二(八尾市)

「熱は冷めぬ」田嶋孝三(河内長野市)

「どちらも熱中」水谷八重子(堺市)



←岡村明敏さんの作品  
「雪の古都」

南野憲二さんの作品  
「好奇心」↓



## ●全日本鉄道写真コンテスト 2021

コンテストの審査結果が発表されましたので大阪府本部関係の入賞者のみお知らせします。

優秀賞 「青春の日」井上秀昭(守口市)

入選 「落陽」長原恭子(兵庫県猪名川町)

## ●全日本写真展 2021 結果発表

「身のまわりのくらしや風俗から経済・政治まで、独自の視点で『いま』を切りとる」がテーマの全日本写真展。撮影者がいかにコロナ禍の今を生き、どう過ごしてきたかが感じられ、撮ることで希望を見つけるような、一歩前へと進むような瞬間に出会えたとの講評もありました。ここでは大阪府在住者の入賞者のみお名前をお知らせします。

○銅賞 齊藤正明「回想」

井上美穂「夕刻の駅」

○大阪府優秀賞 鈴木一彦「雨日」

## 2020年度 大阪写真サロン 審査結果発表

(審査委員長の総評)

新型コロナウイルス感染でカメラを持って撮影にでかける機会がままならない環境の中、ご応募を頂きありがとうございます。

上位入賞に選ばれた作品は魅力的な作品がえられ誠にありがとうございます。

選外作品を問わず、今までに発表された類似した作品も見受けられ、斬新な視点での応募作品が少なかったのは残念でした。

また、選外作品の中にはプリント仕上げの未熟な作品が見受けられました。自家プリントされている方は、プリント用紙の選択にも留意されて、より完成度の高い作品を目指していただきますよう期待いたします。

**審査委員** 吉田 均 (委員長)、塚田澄子、  
山田紀美子、鈴木一彦、水谷八重子

**推薦** 「きらめき」(写真下)  
長原恭子 (兵庫県猪名川町)



(審査委員長の講評) 陽ざしを浴びたシャボン玉がこの場の雰囲気高め、親子の笑顔を一層引き出すことができました。希望に満ちた作品となった。

**特選** 「湖畔」松葉いわお (笠岡市)

「帰省」三浦征志浪 (城陽市)

**準特選** 「譲る」仲田るり子 (大阪狭山市)

「人生の坂道」山本芳子 (高槻市)

「水撒き」山崎風美 (大阪市)

**入選** (以下、大阪府在住者のみ)

「光の回廊」長谷川純一 (大阪市)

「イブニング」原田聖司 (大阪市)

「思わず喉から手」上原弘士 (大阪市)

「やさしい時間」北岑順彦 (箕面市)

「特訓中」筒井利枝子 (吹田市)

「下町の蜃気楼」中尾順一 (枚方市)

「Capture」伊達兼敏 (枚方市)

「秋の夕暮れ」梅田喜信 (松原市)

「春の陽気」藤本幸男 (堺市)

### 秋の撮影会 北条鉄道撮影会 ご報告

昨年の11月14日(日)秋晴れの中、コロナ禍のため参加者が予定より少なく16名となりましたが、兵庫県加西市の北条町へ向け9時に中之島を出発しました。

北条町には予定通り10時30分に到着。ワンマン運行のローカル線で有名な「北条鉄道」の北条町駅で乗り降り自由なフリー切符を購入し、粟生駅まで無人駅の8駅を撮影に向かいました。

網引駅では、古い銀杏の大木が頃合いよく色づき、その付近では家族連れが訪れて銀杏の葉と戯れています。写真映えするレトロな駅舎と電車のコラボに参加者は夢中でシャッターを切り続けていました。

また、北条町では昔の宿場町の名残りがあふれる町並みを撮影したりして、小春日和の陽気に誘われて、あっという間の5時間余の撮影を楽しんで無事帰路につきました。

(高橋憲一 記)



(コンテスト結果は次号で発表させていただきます)

## 読者の広場



↑フォトわかば支部展より  
西山志げるさんの作品「ゴールへ」

これは、「堺浜クリテ」という自転車レースで撮りました。堺浜の自転車コースを使って「堺浜クリテ」というレースが11月から3月にかけて行われます。クリテというのはフランス語のクリテリウム略で「選抜競技」の意味ですが、自転車競技では周回距離が短いレースをそう呼ぶそうです。

私が撮ったのはクリテの中の「90分エンデューロ」というレースです。エンデューロとは、フランス語・イタリア語で「耐久」という意味で、90分間で何周走れたかを競います。男女百台ほどの自転車が一斉に出発しますが、数周すると一列に並んで走るようになります。カメラを少し傾け行く手を高く見せ、この先ゴールまでしんどい走りが続くことを暗示し、また太陽を画面に入れて耐久レースの過酷さを示したつもりです。撮影者にとっても結構過酷で、地面に腹ばいになって撮影しましたが、海からの寒風と地面の冷たさが身にこたえました。

.....

### ●会員継続手続きのお願い

1月から2022年度会員継続の手続きが開始され、フォトアサヒに「振込票」が同封されています。「氏名、金額、振込先加入者名、口座番号」が印刷されたこの「振込票」で郵便局/銀行/コンビニなどから(コンビニが便利です)継続会費納入のほどお願い申し上げます。

## 写真展のご案内

### ◎第57回 高槻支部写真展

2022. 1月14日(金)～1月19日(水)  
高槻市立展示館「けやき」

### ◎第16回 写団清朋 作品展

(アール梅田・富田林支部・船出写真倶楽部・かなん写真クラブ・朝日フォト薈)  
2月22日(火)2時～2月26日(土)  
大阪駅前第2ビル5F ギャラリー A&B



↑守口支部展より  
山田 公 さんの作品「二枚笠の富士」

数回、富士山周辺に撮影に行きましたが、今回は8人で行くバスツアーで1泊2日の撮影になりました。

1日目は河口湖、忍野八海などを撮影してホテルに帰り、期待と不安を胸に消灯しました。

2日目の朝9時頃、ホテルの庭から富士山を見ると、薄い雲に覆われていました。数分後、偶然にも厚い雲が現れ二枚傘富士となっていた。チャンスと思いシャッターを切りました。数枚撮影していると、雲が変形してしまいました。

### 全日本写真連盟 大阪府本部事務局

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

中之島フェスティバルタワー15F

Tel 06-6201-8006 Fax 06-6201-0285

メール…nissyaren@osaka.email.ne.jp